

AWA

2006 Vol.13

awa onna akindo juku

おんなあきんど塾



阿波おんなが「経済」を考える

【提言】キャストからのメッセージ「これからのAWAおんなあきんど塾」

【特集】若者が育つまち「Work for joy 仕事って楽しい!」・徳島大学&徳島市立高校出張講座報告

AWAおんなあきんど塾からのお知らせ・メンターバンク、女性起業家育成資金など
経済と文化の融合・森田摩美さん/私も起業しました!・福永由里子さん

awa onna akindo juku Vol.13 Spring 2006

編集・発行
AWAおんなあきんど塾・徳島市

お問い合わせ先
徳島市商工労働課

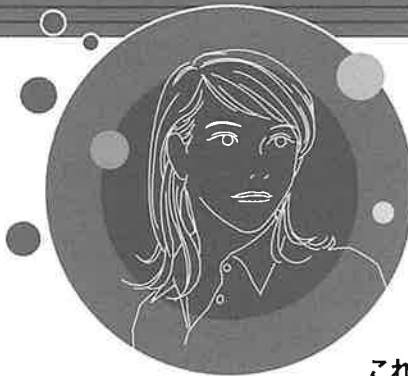
徳島市幸町2丁目5 Tel.088-621-5225・5226 <http://www.nmi.ne.jp/akindo/>

デザイン
株式会社アワード



■作者名/森田 摩美・作品名/尾形光琳先生の器の中 (水彩画)
awa onna akindo juku Gallery

キャストからのメッセージ



これからのAWAおんなあきんど塾

女性経営者が考える地域経済活性化…

AWAおんなあきんど塾がスタートして、10年が経過しました。

この間地域経済をとりまく環境も大きく変化し、

さまざまな課題も生まれています。このようななか、

これからのAWAおんなあきんど塾について、私たちキャストが考え、伝えたいことを綴ってみました。

What's AWAおんなあきんど塾？

徳島の経済活性化のため、知恵と行動でその方策を探り、かつ取り組みをしていこうという徳島の女性経営者の集まりです。帝国データバンクの調査によると、徳島県は

女性社長の比率が全国でトップ。この評価の1つに徳島の女性のバイタリティーやたくましさ、があげられています。

このような地域の特色を生かして、徳島で活躍する女性経営者にスポットをあて、ビジネスに

かかわる女性の視点から、女性にしかできない知恵とアイデアを出し合って、徳島の明日のために、経済を支える人たちをサポートしていこうということでAWAおんなあきんど塾が結成されました。



■ とくしま市とあきんど塾

元気な女性がまちに“すてき”をたくさん散りばめていく…。

あきんど塾の活動は、少なからずその“すてき”創りに貢献できてきたのではと、結成以来10年の時の積み重ねを想います。

官と民の協働、とくしま市とあきんど塾のコラボレーションの賜物として“今”があると思えば、これまでと同様にこれからも、時代に歩調を合わせ、先を行き過ぎず、後にひかえるでもなく、さりげなく徳島社会のお役に立てればと、願うのは私だけではないと思います。

かつては、経済社会弱者と位置付けられていた女性、高齢者、そして若者…

でも今は、そしてこれからは違う！という時代の潮流を感じます。

あきんど塾は、女性いろいろの経済活性化策を論じる軍団。

女性いろいろの“若者に夢を、高齢者に希望を”策を論じる私たちもいていいかも…。

株式会社 クラッシー
代表取締役社長

植田貴世子

<http://www.classy-concierge.com/>



■ “自分の思い”を「未来の力」に!!

2005の秋に、あきんど塾としては初めての試みで、徳島大学の20名の学生さんと徳島市立高校の1年生350名のみなさんにお会いし、「仕事」について話す機会を持ちました。両校とも私の母校でしたので、楽しみに参加させていただきましたが、日ごろ話すチャンスのない若い方たちの声を身近に伺うことができ、予想以上の有意義な時間を過ごすことができました。

私が出たのは、「この若い人たちって、何でもできそう」という強い実感。絵に描いたような夢がある人も、まだ自分がどんなことに向いているかわからないで目標が持てない人

も、日ごろ考えたり、感じたり、行動したりする些細なことから、自分の中に経験や感性を蓄積していけば、必ず将来を切り開いて行く「力」になると思っています。

「自分が思いつくことは、誰にもまねのできないビジネスチャンスの第一歩だ!」そんな自信を持った大勢の人たちが虎視眈々と台頭する機会を狙っている…そんな意外性と活気のある徳島の経済社会を担っていく一員として活躍できたら楽しいと思いませんか?

有限会社 ケイトップス
代表取締役 高岡慶子
<http://www.k-tops.co.jp/>

■ 徳島にしかない魅力を再認識!

あきんど塾のキャストとして、徳島大学、徳島市立高校の出張講座に参加させていただきました。参加していただいた学生の皆さんの目の輝きと熱心が何より印象に残りました。

普段、私が思っていたよりずっと若い人たちは働くことについて真剣に考えていたのだと思い知りました。若い人たちにとって、働く場としてのまちと生活する遊ぶ場としてのまちという2つの顔が必要だと思えます。

徳島のような地方都市では、東京や大阪などの大都市と比べて色々な点で見劣りするは事実です。でも、生まれた場所で暮らし、働くことのすば

らしさや徳島にしかない魅力がわかってほしいと切に感じます。

若い人たちはもちろんのこと、高齢者の方たちが希望とやすらぎ、そしていきがいをもてるような、そんなまちの魅力をもっともっと引き出し、徳島がもっともっと元気なまちになれば…と思います。

そのために、私たちができること、あきんど塾として、自分の企業として役立てることをこれからも考えていきたいと思えます。

ブライダルコア ときわ
専務取締役 高畑富士子
<http://www.bctokiwa.co.jp/>





■ ひとりひとりの夢の実現で徳島が元気になる!

「君の夢は必ず実現する!」を学生に語り続けた1年だった。

自分が学生の頃、大人の世界は未知で巨大な存在だったから、自分がどんな仕事をするかなんて想像もできなかった。でも高校3年生のときに一瞬「出版の仕事がしたい」と夢を描いたことは覚えている。それが現在につながったのだと今になって振り返る。

それならば、学生のときに将来の仕事のことを考えて様々な仕事体験もして夢を思い描いたら、そして夢に向かってたゆまぬ努力をし続けたら、実現できないことはないのではないだろ

うか。と、そんなことを語り続けた。

人生は学生時代よりも仕事をする時間の方が随分と長い。だとしたら自分が楽しいと思える仕事をした方が人生充実するに決まっている。

徳島に暮らすひとりひとりがこのまちで自己実現をして生き活きと生活したら、生き活き人がたくさん集まった元気なまちになるに違いないと思う。

株式会社 あわわ

代表取締役社長

坂田千代子

<http://www.awaawa.com/>

■ さまざまな世代の人たちの元気をつくる!

若い人たちが「働くこと」「仕事をする」をどんなふう考えているのだろうか?

昨年、徳島大学、徳島市立高校での出張講座を通じて、学生のみなさんと仕事について語り合う機会を得ることができました。

この2回の体験を通じ、「現在の高校生、大学生が徳島で住み、働いてもらう動機づけをあきんど塾が少しでも担えれば」と思いました。

例えば、あきんど塾、関係機関、企業などが連携し、さまざまな分野の方たち、そしてこれまでご活躍されてきた団塊の世代やシルバー世代の方たち等さまざまな世代の方たちによる出張講座やインターンシップのなどを開催、仕事や徳島の文化、ボランティア活動など、

まだまだ多くの高校生や大学生が現状認識、現状把握が十分でないコアな部分について体験談などを語ってもらい、興味を持ってもらうようにすれば!と考えます。

未知なる可能性を秘めた若い世代の方たちに、このふるさと徳島の魅力を活かす何かを担ってほしい……。

そして、それを引き出すのは、これまでがんばってきた高齢者の方たち、団塊の世代の方たち、などなどすばらしい人生の先輩たちでは……?と思います。

あきんど塾がこうしたさまざまな世代の方たちのコーディネーター役を担っていければ……。

有限会社 モンド・ジャコモ
代表取締役 高木博代
<http://www.childa.com/jacomo/>



■ 目指せ拡大善循環!

～「甲子園大会」や「オリンピック」に、なぜヒトは惹きつけられるのか?～

継続的に支持されるイベントや事業には、必ずヒト・モノ・カネ・情報の循環構造がうまく組み込まれているように思います。

善循環を生む本質は「永続性、競争性、名誉授与、自己実現、参画性、記録性、演出性、長期目標、利益還元」。おなじみの「甲子園大会」や「オリンピック」にはそのすべてが含まれているから、永続的な求心力がある。十数年の歴史を持つ東急ハンズの「ハンズ大賞」も、善循環型イベントの典型とされています。

まちづくりも実は同じではな

いでしょか?市民が参画できて、自己実現できて、長期目標が立てられる。官と民との協働事業としてスタートしたあきんど塾の活動も、実はこの「善循環型社会」を夢見ての10年間だったように思います。

これからもヒトがヒトを呼び、情報が情報を呼び、夢が夢を呼び、口コミが口コミを呼ぶ…「血の通った情報社会」のポンプ役となり、ヒトの心を惹きつけてやまない徳島づくりの少しでもお役に立てれば…と願っています。

株式会社 ココア堂

代表取締役社長

立川真季

<http://www.cocoad.com/>

■ 輝ける徳島を目指して

AWA おんなあきんど塾のキャストとなり4年の月日が流れました。

この間、さまざまなシーンでご活躍される起業家の方、そして起業を目指してがんばっておられる方たち、それぞれの目撃がきらきらと輝いていたことが、印象に残っています。

そんな中、昨年、徳島大学創成学習開発センターで、大学生のみなさんと「仕事」について語り合う機会を得ました。

学生のみなさんの仕事に対する真剣な思いを聞き、この

思いを忘れることなく、実現にむけて努力して行ってほしいと思いました。

あきんど塾キャストとしての活動が、若い世代のみなさんをはじめあらゆる世代の方たちが自分の可能性や徳島の持つ財産に気付くきっかけとなり、すべての人々が輝ける徳島づくりにつながればと思います。

株式会社 角元産業

企画開発室長 角元愛

<http://www.kakumoto.net/>



Work for joy 仕事って楽しい!



AWAおんなあきんど塾出張講座
in The University of Tokushima

若者が育つまち とくしま

地域経済が活力あふれるものであるためには、今や、若い世代の知恵と能力、そして、やる気が必要不可欠な時代です。だからこそ、将来の徳島の経済を担う若者たちに、働くことの意義、働くことの楽しさについて考え、自分の将来をみつめてほしい。そんな思いからAWAおんなあきんど塾キャストが、大学生・高校生のみなさんに自らの体験や仕事への思いをお話しました。



仕事をするのは、お金のため？
それとも目的のため？

お金も大切だけど…
生活の安定も確かに必要…
でも、それだけじゃ…



その先にある何か…
あなたは…
どんな目的をもっていますか？
あなたの…
やりたいことは何ですか？
あなたは…
将来のビジョンをもっていますか？

●と き
9月21日(水) 15:00~17:00

●と ころ
徳島大学創成学習開発センター
(インベーションプラザ)

●出張キャスト

株式会社クラッシー 代表取締役社長
植田貴世子

角元産業株式会社 企画開発室長
角元 愛

株式会社あわわ 代表取締役社長
坂田千代子

有限会社ケイトップス 代表取締役
高岡 慶子

有限会社モンド・ジャコモ 代表取締役
高木 博代

プライダルコアときわ 専務取締役
高畑富士子

以上 AWAおんなあきんど塾キャスト

仕事をやり終えたあとの充実感
そして、仕事を通じて得た
さまざまな出会い…
そこから広がるネットワーク
そこからはじまる新たな目標

“Work for joy
仕事って楽しい!”
これぞまさしく、
仕事の醍醐味!

目標にむかって、夢にむかって、
輝きつづけている自分でありたい

■参加者のみなさんからのメッセージ (アンケートより)

- 自分の将来について考えるうえで、大変参考になりました。自分のしたいことが見えてきたように思えます。
- 女性経営者の生の声を実際に聞けてすごく良い刺激を受けました。働くことに対する大きな目標をもう一度考え直したいと思いました。
- 起業をすることは、もっと難しいことだと考えていたが、目的さえしっかりしていれば、どうにか起こせるものだった。
- 仕事についての考えが変わったというよりも、いろいろな考えが増えた気がした。いずれにしても仕事はやりがいをもって楽しくやっていきたいし、そうなるように自分の目標にむかってがんばっていきたい。
- なによりもAWAおんなあきんど塾のキャストのみなさんの顔がステキでした。
- 経営者としての厳しさや女性としてのものごしのやわらかさを感じた。若者と
- 経営者とのネットワーク作りが大切。
- 生き方のヒントを得られた。「目標設定」を意識していこうと思った。
- 仕事をするというのは、お金をかせぐということにとられない姿勢は必要だと思った。それは、新発見。いつまでも楽しんでいきたい。
- 最初についた仕事とか、最初に思っていた職種とは違う仕事をされている方が多いことが意外だった。仕事をする上で、目的が大切ということだったが、その目的とは、人生の中でずっとつらぬく目的ではなく、その瞬間の気持ちを自分でやっていく仕事の中心にしている目的だと感じた。
- 就職活動を始めるにあたり、経営者の方から話が聞け、勉強になりました。周囲に対して場の雰囲気を読むなど、今後気をつけていきたいと思った。
- AWAおんなあきんど塾のみなさんの



顔が輝いていたのが、印象的でした。何年後、自分もそんな顔をしながら働いていたいと思いました。ありがとうございました。

- 女性経営者のつながり、ネットワークでささえ合ったり、情報提供・収集していることが勉強になりました。このようなつながりが、徳島の女性社長率トップを支えているのでは? 今後も外にむかって情報発信していくグループであってください。



AWAおんなあきんど塾出張講座 in 徳島市立高校

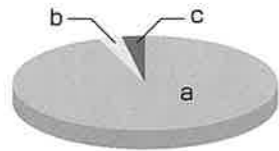
徳島市立高校にて、第2回目の出張講座を開催しました。5人のAWAおんなあきんど塾キャストたちが、「仕事」「働くこと」についてのそれぞれの思いを熱く語りました。

■ 事前アンケートの集計結果

2005年10月27日 回答数:353人

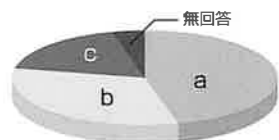
Q1. 将来、仕事をしたいですか?

a したい	333
b したくない	10
c その他	10



Q2. Q1で「仕事をしたい」と答えた理由?

a 目的のため	162
b お金のため	114
c その他	63
無回答	14



Q2-1. Q1で「b仕事をしたくない」と答えた理由?

- 専業主婦になりたい
- 面倒くさい
- ニート?
- スロットとパチンコと宝くじで一獲千金、あとラスベガス
- 面倒くさそうだから

Q3. あきんど塾キャストへの質問 (抜粋/特に多かった質問)

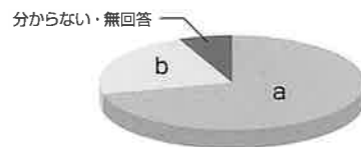
- 高校生の時から社長になろうと思ってましたか? また、どんな夢を持っていま

たか?

- 社長になったきっかけは? また、どのようにして社長になったか?
- 社長になって苦労したこと、また、得たものは?
- 女性として苦労したことは? (女性ということで差別されたこと、家庭との両立等)
- これまでの自分をささえたものは何ですか?
- どんなことに気を付ければ出世できますか? 社長になれますか?
- どんな目的をもって仕事をしていますか?

Q4. 3億円あれば仕事をしますか?

a する	251
b しない	79
分からない・無回答	23



Q4の質問に「する」と答えた理由

- 起業する
 - 大きなことをしたい
 - 3億円を資本に事業を興す
 - カフェをしたい
 - お店をしたい
- 海外へ行って仕事をする
- 子育てに余裕があればする
- やりがいのある仕事に出会えたらする
- お金のためでなく目的のためにしたい
- 何もしなければ退屈で人生つまらない
- 仕事をしなければ、いい友人もできない

● とき
11月11日(金) 14:05~15:15

● ところ
徳島市立高校体育館

● 出張キャスト

株式会社あわわ 代表取締役社長

坂田千代子

有限会社ケイ・トップス 代表取締役

高岡 慶子

有限会社モンド・ジャコモ 代表取締役

高木 博代

プライダルコアとさわ 専務取締役

高畑富士子

株式会社ココア堂 代表取締役

立川 真季

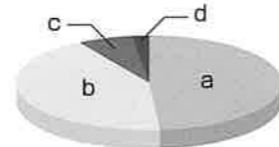
以上 AWAおんなあきんど塾キャスト

■ 終了後アンケートの集計結果

2005年11月11日 回答数:346人

Q1. この企画に当てはまるものは何ですか

a 非常に満足	166
b やや満足	145
c やや不満	23
d 非常に不満	7



(選択の理由)

- 将来や進路を改めて考える機会となった。
- 具体例のある、生の声が良かった。
- 社会の現状について少し理解できたし、将来についての構想が少し明確になった。
- 自分で仕事をする中で会社の中だけでなく、家庭での立場も上がるかもしれない。わくわくする。
- 人から学ぶ大切さや自分に足りないものを知った。自立するためのアドバイスをくれた。
- 大変なことを乗り越えられるよう、がんばろうと思った。勇気づけられた。



に考え他人のためになることをすることが大切だと思う。全ては自分の思い描いた通りになる。

- 僕は悩むときに自分を追い込んでしまうタイプなので今日の話聞いて皆さんの悩むときの対処の仕方がわかり、参考になりました。社長なのでもっと悩んだりするのかなと思っていたら案外ポジティブだったのでほっとしました。これからも徳島をもっと栄えた町にしてほしい。

- 不況により、公務員志望が多い中、社長を目指す人たちが徳島にたくさんいるのを知って希望もてた。驚いたというか、いわれてみればそうだなと思ったのは、「女性と男性の収入が同じなら家事も同じだけやるのが当たり前」「男性が仕事と家事の両立が難しいです、と言いつつあと10年」という2つ。確かにその通りだ。

- 会社があるということは社長がいて、女がいるということは女社長が存在する。当たりのことですが、女社長なんて漫画やドラマの中でしか会ったことがありませんでした。私には夢があって目標があるのですが、だからこそ、達成できるかどうかや、なった後、長く続けられるのかなど、たくさん不安があります。でも、今日のAWAおんなあきんどの皆さんが本当に生き生きして、楽しそうに仕事をしているのを伺って、女でも男に負けないうくらい明るく仕事をして、自分らしく生きていけるんだなあ実感してやる気やちょっとした野望ができました。

- 意見の内容がわかりやすく、豊富な経験を聞くことができたので自分自身にも生かせるようにこれから努力をしていきたいと思っています。自分には足りないものや知っておかなければならないものも見つけたように思います。

- 将来に不安があったが、少し安心した。

- 堅くない雰囲気良かった。真剣でわかりやすかった。楽しかった。面白かった。

- 機知に富んでいて面白かった。ぜんぜん眠くなかった。

- もっと詳しく聞きたかった。仕事の内容も聞きたかった。

- 男社長の話も聞きたかった。

- 生徒がもっと少人数の方が良かった。

- よくわからないところもあった。

- すばらしい企画だった。時間がもう少しほしい。

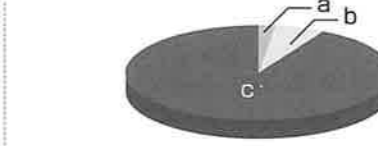
- 自分の求めていた情報と違っていた

- 自由参加にすべき。

- 個別に聞きたい。

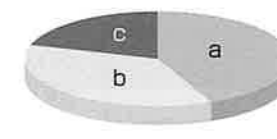
Q2. AWAおんなあきんど塾について

a 知っていた	7
b 名前は知っていたが、活動内容は知らない	21
c 全く知らなかった	318



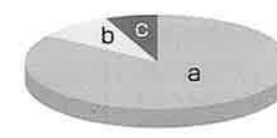
Q3. 自分の将来の職業について

a まだ考えていない	150
b ほぼ決まっている	126
c 目標に向かって頑張っている	70



Q4. 出張講座の内容について

a 将来について考えることができた	292
b 興味が無いので楽しなかった	32
c その他	22



(感想)

- お金はあくまでも付属品だと思った。積極的な態度(成功を信じて疑わないこと)が成功を導くのだと思う。また、目標に向かって行動し目標達成のために何をすべきかを考えることも成功への道だと思う。公に何をすることができるかを常



女性の感性や特性を生かして起業する!

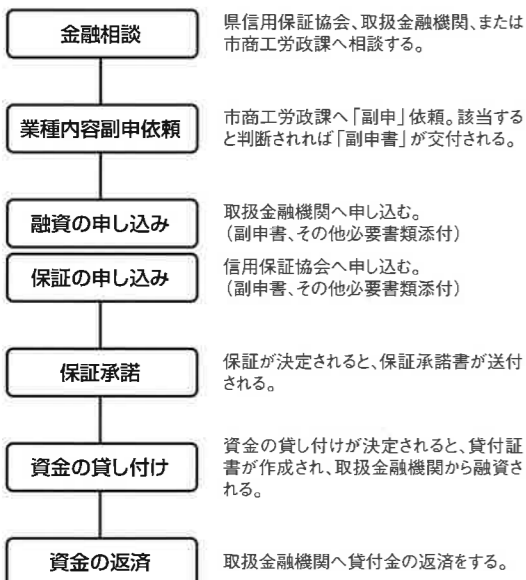
そんなあなたにピッタリの
融資制度があります。

Check.1 徳島市女性起業家育成資金制度

新たに女性の感性や特性を生かして社会性のある事業を起こそうとする方(開業後1年未満を含む)で、熱意が感じられ、開業後の経営の安定的発展が見込まれる方に対し、開業に必要な設備資金や運転資金を融資する制度です。

融資限度額	500万円以内
融資期間	7年以内
融資利率	年利1.60%以内
保証料率	年0.50%以内
担保	必要に応じて徴収
保証人	原則として連帯保証人2名以上
返済方法	分割償還(1年以内据え置き)

[手順]



Check.2 徳島市女性起業家育成資金利子補給金制度

徳島市女性起業家育成資金制度を利用し借入れを受けた場合、その利子の支払いに対し、市が一部を補給する制度で、女性起業家の負担を軽減するためのものです。

交付率	利子の支払いを要する元金に対し、年利1.60%以内
交付対象期間	借り入れた日の属する月から1年以内

AWAおんなあきんど塾の
ホームページ。

AWAおんなあきんど塾と徳島市では、AWAおんなあきんど塾の活動や、女性起業家支援のための融資制度等さまざまな情報を皆さまに提供するホームページをインターネット上に開設しています。AWAおんなあきんど塾の機関誌の内容も、第9号(2002年発行)以降はすべてご覧いただけるようになっています。

働いている女性、これから起業したいという女性はもちろん、学生や主婦の方々も、ぜひ一度、AWAおんなあきんど塾のホームページにアクセスしてみてください。

いろんなご意見のメールもお待ちしております。



AWA MENTOR BANK
<http://www.nmt.ne.jp/~akindo/>

AWAメンターバンク制度を
活用してみませんか?



AWAメンターバンクとは?
メンターとは、良き指導者、つまり、相手を励まし相手の能力・可能性を最大限に発揮させることのできる人のことをいいます。ですから、良いメンターをもっているかどうかは起業の成功の鍵ともいえるのです。
相談できるジャンルは、「情報収集」「ビジネスプラン」「資金調達」「開業手続き」「経営戦略」「起業後の展開」の6項目あり、それぞれの項目ごとにメンターがあなたの相談を待っています。(相談できるのは女性に限ります。また、相談は無料ですが、求める支援の範囲により料金が発生することもあります。)

現在、メンター登録数は、43件(個人27人、法人16)で、インターネット上に公開しており、直接、メールで相談できるシステムになっていますので、ぜひ、ご活用ください。

interview guest **もりた まみ**
森田 摩美さん
[フリーイラストレーター・徳島市]

●インタビューー AWAおんなあきんど塾 キャスト/坂田千代子

今号の本シリーズで紹介するのは、徳島市在住フリーイラストレーターの森田摩美さんです。森田さんは、長年、美術の勉強を続けられ、デザイン会社勤務を経て、昨年フリーのイラストレーターとして活動を開始されています。また、初めての個展も開催され、今後の活躍が期待されています。



自分の作品の特色は?

森田さん 透明水彩によるイラストレーションということで、花や動物、人など身の周りの身近な題材を穏やかな色彩を使って描いています。今回掲載した作品は、尾形光琳のスケッチを見て浮かんだイメージで、そこに私がよくモチーフにする愛犬を組み合わせてみました。日本画の美しさを自分のイラストに取り入れたいと思い挑戦を試みた作品です。

ご自身のホームページで作品の紹介もされているようですが。

森田さん これまで描いてきた身近な題材の作品をギャラリーとして公開しています。また、昨年、約一ヶ月かけて旅行した南フランスの旅先での風景の数々もイラストとして作品化し、紹介しています。

ご自宅で、イラストや絵の教室を開かれる計画があるそうですが?

森田さん 子供から大人の方まで多くの人に、描くことの楽しさを知ってもらいたいと思い、自宅を改装し、皆が集まれるアトリエを作りたいと計画中です。

これからの活動目標を教えてください。

森田さん 自分の中で、描くことの過程をより大切にしていきたいと思っています。そして、思い描いている絵がイメージ通りにスムーズに表現していければ、と思います。これからは、以前から描いていた「花」の絵にもよりいっそう力を入れていきたいと考えています。また、自分の作品を通じて、たくさんの方に安らぎを与えることができればと思っています。

ひと、花、フード、動物など日常生活に密着した題材を、見た者の心に深く印象に残る繊細なタッチとみごとに色使いで、ステキに表現する森田さん。今後の活躍に期待しています。

ホームページアドレス
<http://www.mami-illustr.com>

私も起業しました!



■ あきんど塾で育んだ“想い”

女性起業家としてスタートラインに立った今、喜びや感謝と同時に身の引き締まる思いがします。「あきんど塾」に出会っていなければ、途中で起業を諦めていたかもしれません。「私にもできるだろうか?」と不安な気持ちでセミナーに参加したのは何年も前のことです。その時、キャストの方々がキラキラと輝いていたことが心に残りました。「私も輝きたい!」と強く思うようになりました。その後、キャストの方の生の声を伺ったり、相談にのっていただいたり…。起業したいと宣言してからは、「いつ?」「まだ?」との温かい励ましの声をいただき、本当にありが

たく思いました。“想い”は声に出すべきですね。今回、「人材育成」と「カラーセラピー」で起業しました。マナー研修を通じて、また産業カウンセラー、カラーセラピストとして企業や個人の方と関わっていきます。「あきんど塾」のキャストの皆さん、関係者の皆さん、また、家族の理解や応援は大きな支えになりました。皆さん、ありがとうございました。これからもよろしく願います。今のこの感謝の気持ちを忘れず、これからも成長していきます。そしてまた、今後はメンターとして微力ながらお手伝いできればと思います。カラープロデュース・ユリ 福永由里子

●AWAおんなあきんど塾キャスト/稲実房子、植田貴世子、岡部恭子、角元昭子、角元 愛、岡岡真由美、河野世津子、蔵本美奈子、坂田千代子、和田多美子、佐藤公子、高岡慶子、高木博代、高畑富士子、立川真季、中山律子、新居洋子、吉田真由美、米川慶子、米津津美、和田玲子(五十音順)